

高松・南昌友好会館落成記念

# 市民訪中団派遣事業報告書



高松・南昌友好会館落成記念市民訪中団派遣実行委員会

## ごあいさつ



松本恭輔実行委員会委員長

高松・南昌友好会館の落成おめでとうございます。

友好会館は、「合弁と開発」を合言葉に日々その姿を変える南昌市にあって、自然豊かで風光明媚な青山湖畔に位置し、白亜の建物は付近の緑と見事に調和したたたずまいを見せております。

さて、高松市と南昌市は、1990年9月28日に友好都市提携を行って以来、早いもので6年が過ぎております。

この間、両市の公式代表団の相互訪問はもとより、教育・スポーツ・金融・報道などの様々な分野で交流が深まっており、また行政研修生の相互派遣や経済・技術研修生をはじめ、看護研修生や農業研修生の受け入れも行っており、まさに両市共同での友好会館の建設は、友好交流の5周年の節目を飾るにふさわしいイベントだと存じており、友好会館は今後の友好交流の拠点として発展していくものと確信しております。

このたびの友好会館落成記念式典には、200人を超える方々に御参加をいただき、お陰を持ちまして大成功のうちに終了することができました。ここにあらためてお礼を申しあげる次第でございます。

さて、最後になりましたが、今回この友好会館落成記念事業の締めくくりとなります市民訪中団派遣事業報告書の発行に到るまで、高松・南昌友好会館落成記念式典市民訪中団派遣実行委員会の皆様方のもとより、関係の皆様方の多大なる御支援・御協力に対し厚くお礼を申しあげまして、発行にあたっての私のごあいさつといたします。

## 報告書目次

松本実行委員長あいさつ	1
1 友好会館	3
2 落成記念式典	4
(1) あいさつ	
(2) 祝 辞	
(3) 記念品等贈呈	
(4) 祝 舞	
(5) テープカット	
(6) 記念植樹	
(7) 館内見学	
3 祝賀レセプション	7
4 桜花島除幕式	8
(1) 除幕式	
(2) 桜花島	
5 友好交流	9
(1) 文化交流	
(2) 経済交流	
(3) 日中友好団体交流	
6 友好都市南昌市を後にして	12
<b>資 料 編</b>	
1 友好都市南昌市	13
2 市民訪中団	14
(1) 募 集	
(2) 結団式	
(3) 出発式	
(4) 本部・事務局	
(5) 団員・日程	
3 市民訪中団派遣実行委員会	18
(1) 設立趣意	
(2) 実行委員会委員	
(3) 経 過	

## 1 友好会館



高松・南昌友好会館は、両市の友好提携5周年を記念し、日本の文化や両市の概要を紹介するとともに、交流活動の拠点として、南昌市に両市共同で建設した宿泊・文化施設である。

風光明媚な青山湖のほとり、緑の木立の中にたたずむ友好会館は、南昌市中心部から約3km、車で約10分の距離にありながら、心和む、豊かな自然環境を誇っている。

### (1)概 要

敷地面積	5,000 m <sup>2</sup>
建築面積	4,072.5 m <sup>2</sup>
規 模	地上4階・地下1階
主な施設	1階 売店・展示室・和室・語学研修室 レストラン・事務室等
	2階 会議室・図書室・応接室・客室(8室)
	3・4階 客室(各8室)
	地下1階 機械室・電気室

## 2 落成記念式典

1996年5月11日、友好会館落成記念式典の朝を迎えて、前夜までの雨は収まり、快晴となった。高松市代表団、市民訪中団の総勢233人と南昌市政府関係者、市民が参加し、赤や黄色の花カゴで華やかに飾られた友好会館前庭で式典は開催された。式典コンパニオンの出迎え、音楽隊の演奏の中を会場に入る市民訪中団の面々は、前夜の南昌到着の疲れも忘れ晴れやかに輝いていた。この感激は一生忘れ得ぬものとなるでしょう。



入場する訪中団



式典に臨む訪中団



### (1)あいさつ

高松市を代表して増田高松市長が「友好会館の建設は、両市の交流史上画期的な出来事であるとともに両市間の新たな幕開けを告げるもの。また平和と友好という親書を携えてやって来た私達一行200名余りは20世紀の遣唐使」とあいさつ。

また、南昌市を代表して劉南昌市長は、「南昌・高松両市政府ならびに両市市民の努力と共同作業により建設された友好会館は、両市の友好交流が前途洋々たることと両市市民の友好が絶えることなく続く証し」とあいさつ。



高松市長 増田 昌三



南昌市長 劉 偉平

### (2)祝 辞

高松市議会を代表して大熊忠臣議長、市民訪中団を代表して林伸樹団長が「この友好会館は、両市の信頼と友情の証であり平和・友好の草の根交流の拠点となるもの」「この友好会館を舞台に両市交流が活発化し、両市が限りない隆盛をとげ友好の道とともに歩もう」とそれぞれ祝辞を述べた。



大熊高松市議会議長



林市民訪中国団長



屋島の絵画を贈る星川  
高松商工会議所専務理事

### (3)記念品等贈呈

友好会館の落成を記念して、高松商工会議所から絵画、三好氏から讃岐提灯、友好の桜島造成実行委員会から造成募金が南昌市へ贈られた。



讃岐提灯を贈る三好正信氏



桜島造成募金を贈る脇信男前市長



### (4)祝 舞

祝いの舞としてよく踊られる日舞「古い松」が山本博子（藤間春元弥）先生により荘重に舞われた。友好会館の落成を祝うとともに高松市と南昌市の交流が老松の年輪の如く永く続き、共に栄えるように願いを込めて。



### (5)テープカット

紅いリボンを式典コンパニオンがお盆の上で捧げ持つ中国式テープカット。

日本のそれより華やかであった。

〔高松側〕

増田市長、大熊議長  
多田野姉妹都市委員会会長  
林市民訪中团团長  
脇前市長

〔南昌側〕

江西省副省長、劉市長  
陳副書記、史人代主任  
洪前市長

### (6) 記念植樹

友好会館の日本庭園に日本の国花である桜を両市の市長、市議会議長、市民代表者がそれぞれ植樹した。3本の友好桜が枝いっぱいになつて満開となる日も近い。



### (7) 会館見学

両市の友好のシンボルであり交流拠点となる友好会館。高松市からの一行は、館内を見学して「再び友好会館を訪りたい」という気持ちに駆りたてられたことでしょう。



## 3 祝賀レセプション

友好会館に近い円筒形のホテル、五湖大ホテルで祝賀レセプションが盛大に開催された。劉偉平市長をはじめとする南昌市側と林伸樹先生を団長とする市民訪中団、そして高松市代表団が中国の歌が演奏される中、日中相互が交じり席に着いて、祝賀レセプションは始まった。あいさつが終わると「カンペイ」の声があちらこちらのテーブルで飛び交い、お互いに友情の杯を酌み交わした。緊張していた訪問団もあふれんばかりの笑顔で迎えてくれる南昌市の人たちのもてなしに次第にリラックス。それぞれのテーブルでは身振り手振り、筆談を交えた談笑と記念撮影でレセプションは大いに盛り上がった。





## 4 桜花島除幕式

### (1)除幕式

祝賀レセプションの後、市民訪中団は、桜花島除幕式に臨んだ。桜花島のある南昌市郊区区長、戸曉綾女史は「美しい桜の花をきれいに咲かせ、高松・南昌の真の友情の花、友情の島になるよう努力します。」とあいさつ。その後、両市長、脇信男桜島造成実行委員長により石碑の除幕が行われた。



### (2)桜花島

友好会館の落成を祝し、民間サイドの記念行事として南昌市に、昔から日本人に愛されてきた桜を植樹し、友好林を造成する計画が「友好の桜島」実行委員会を中心として進められた。そして300人を超える市民と40に近い団体企業の賛同を得て、南昌市郊外の艾溪湖<sup>アイシーフ</sup>の人工島に山桜、八重桜、染井吉野、江戸彼岸の桜4種500本が植樹された。

この友好の桜島を称して「桜花島」という。



## 5 友好交流

完成したばかりの友好会館前庭において落成記念式典が絢爛豪華に開催された後、日本の伝統文化である茶道と華道が高松市茶華道協会の皆さんによって披露された。経済関係者、市日中友好協会、弦打校区日中交流協会の皆さんは場所を移し、それぞれの目的に応じた交流会を持った。また、この日のハイライトは江西芸術劇院での文芸交流であった。両市民は変わらぬ友好を誓い合い、ここに言葉と国境を越えた文芸交流が実現した。

### (1)文化交流

#### ①茶華道交流

落成記念式典への参加者を対象に華道の披露が館内の研修室で行われた。南昌市民は事前に用意されていた中国産の薔薇やカーネーションなどの花を使い「生け花」に初挑戦。高松からの華道の先生方から和気あいあいの中、指導を受け、慣れない手つきながら、ほぼ30分で、上手に生け花が完成。

一方、日本庭園に面した和室では心尽くしのお茶のお点前があり、古式ゆかしく日本の伝統文化が紹介されると、参加者からは大喜びの声が上がった。茶華道ともに人気を集め、南昌市民は日本文化の粋を十分堪能したようだ。

#### ■高松市茶華道協会

代表者	岸 謙司
茶 道	横倉 貞子
〃	山下 敏子
〃	山本佳世子
〃	宮脇 艶子
〃	阿河久美子
〃	溝渕ナオミ
〃	檀原美恵子
〃	青木 澄
華 道	笠井 幸代
〃	樋端 房子
〃	中山 節子



## ○文芸交流

日本の芸能を一目見ようとする南昌市民で会場の江西芸術劇院(2,200人収容)は早くから超満員。演目は日本を代表する日舞、民踊、三味線、中国側は京劇、歌、アクロバティックショーなど出演者は多士彩々、まさしく日中文芸の競演となった。会場は和やかなムードで、友好一色となり、出演者は熱の込められた演技を続けた。アクロバティックは軽々とした身のこなしを披露し、京劇では勇壮活発な孫悟空の乱舞に身を乗り出して見入り、南昌市民による日本の歌に訪中団一行の心は揺さぶられた。

一方、民踊協会の一行が舞台狭しと民踊を踊り、日舞協会の一行による日本情緒豊かで見事な日舞に超満員の観客から惜しめない拍手が送られた。また、太棹三味線の力強いパチさばきの音色がホールに響き渡ると、どよめきに似た歓声が沸き起こり、友好の調べに南昌市民は大いに酔いしれた。こうして予定時間の2時間はあっという間に過ぎ、大勢の観客を魅了した文芸交流は幕を閉じた。

楽屋では日中の文芸家たちが記念写真を撮り、サインを交換しあって、友情の花を咲かせていた。訪中団は南昌市民とともに日中芸術交流のうたげを思う存分楽しんだ。

### 高松市日舞協会

代表者 山本 博子  
山本 元子  
山本 正春  
二川 和子

### 高松市民踊協会

代表者 松岡 芳子  
小笠原和子  
小坂 陽子  
藤村 敬子  
片山 幸子  
小山ヨシ子  
細谷 政子  
上原 道雄  
広瀬由美子

### 三味線

天弘 房江



### プログラム

- 1 「歓迎の歌」(お茶を勧める歌：江西民歌)  
南昌市歌舞劇団
- 2 「遠方のお客様ずっといてください」(中国サニ族民歌)  
「あかとんぼ」(日本歌曲) 南昌市歌舞劇団
- 3 「一合まいた」(日本民踊) 高松市民踊協会
- 4 「花の踊り」(中国民間舞踏) 南昌市歌舞劇団
- 5 「断橋で夢合わせ」(地方劇舞踏) 江西省贛劇団
- 6 「讃岐音と形」(太棹三味線) 高松市 天弘房江
- 7 「四季の歌」(日本の歌) 南昌市歌舞劇団
- 8 「旗の下の木蓮」(小児舞踏) 南昌市育新学校
- 9 「ああ、源平」(日本舞踊) 高松市民踊協会
- 10 「西遊記より孫悟空天宮で大暴れの場面」  
(京劇) 南昌市歌舞劇団
- 11 「さくら(日本の歌)」(女性二重唱) 南昌市歌舞劇団
- 12 「藤娘」(日本舞踊) 高松市日舞協会
- 13 「地輪回し」(アクロバティック) 江西省雑技団
- 14 「ジャスミンの歌」(江蘇省の茶摘歌)  
「ソーラン節」(日本北海道民謡) 南昌市歌舞劇団
- 15 「元禄花見踊り」(日本舞踊) 高松市日舞協会
- 16 「恋人よ」(日本歌謡曲)  
「アジア雄風」(1990アジア 大会テーマ) 南昌市歌舞劇団



## (2)経済交流

高松商工会議所経済団は南昌市経済委員会との懇談、江西印刷会社の視察見学と懇談を行った。南昌市からは、同所が受入窓口となり印刷技術研修生を受け入れており、整った設備を有する中国の印刷事情を知ることができたことは有意義であった。

### ■高松市商工会議所経済団

団長 大西 潤甫

星川 榮二郎	中尾 宇市	岡田 広治
高橋 真人	吉岡 和子	田村 郷美
伊藤 琢夫	伊藤 文枝	田淵 稔



## (3)日中友好団体交流

弦打校区日中交流協会は弦打小学校の姉妹校である育新学校を訪問した。児童の熱烈歓迎ぶりには、目頭が熱くなる思いだった。弦打校区日中交流協会は精力的に親善活動をこなした。

高松市日中友好協会一行は、南昌市中日友好協会との再会を祝すとともに懇談を行い、友好会館の落成を契機とし、1997年に国交正常化25周年を迎えることから、さらに両協会が手を携えて、友好を深めていこうと誓い合った。

### ■弦打校区日中交流協会

団長 住谷 幸伸

香川 敏雄	北村 正人
安井美恵子	家田 治男
石濱 忠幸	山地 悦次
藤田 京子	安藤 誠司
住谷 俊治	家田 芳子



### ■高松市日中友好協会

団長 立野 省一

河村 ナカ	中井 慶子
穴吹 学	



# 6 友好都市南昌市を後にして

南昌出発は、早朝にもかかわらず、大勢の南昌市民が空港で見送ってくれた。再会を誓い、別れを惜しむ一行の姿に民間交流のきずなの強さを実感しつつ、市民訪中団は、3コースに分かれ、次の訪問地へ向かった。

南昌市での3日間は、言葉の壁を超え、有意義な交流となった。

こうして、初のチャーター機乗り入れとなった大訪問団が南昌市を知り、人々の温かい心にふれ、同時に、両市の交流の歴史に記念すべき1ページを添えたのである。



南昌市の地元紙「南昌晚报」(1996. 5. 11) の第1面に大きく掲載された

# 資料編

## 1 友好都市南昌市

「大地に埋め込まれたエメラルド」と形容されるがごとく緑豊かで川と湖に囲まれた田園都市である。いにしえより交通の要衝として栄え、現在も道路、鉄道、飛行機といった交通の拠点となっている。現在は江西省の省都として政治、経済、科学、文化の中心都市である。

また、経済とともに文化も栄え、豊富な文化遺産、美しい名勝旧跡が数多く点在している。優れた人材も数多く輩出してきたことから「物華天宝」「人傑地霊」と呼ばれている。

- (1)人口 約380万人
- (2)面積 約7,402km<sup>2</sup>
- (3)地勢 上海から南西約826kmに位置し、江西省の北部に位置する。市全域は主として、平地であり、平均海拔25m、最高地点でも841.4m。
- (4)気候 亜熱帯気候に属し、温暖である。  
年間平均気温 17.6℃（1月平均5.9℃ 7月平均29.0℃）
- (5)交通 道路は江西省全域を網羅している。鉄道は、毎日始発列車として北京、上海、南京行きなどがあり、近く新南昌駅が完成すれば、京九鉄道の停車駅となり、さらなる発展が期待されている。飛行機は北京のほか上海・広州などに定期便がある。
- (6)沿革 紀元前202年に、南昌の地に街が開かれた。古代から南昌は中国の中部から南部への交通重要地区であり、歴代にわたって県治、郡治の所在地であった。1926年、北伐軍が南昌を占領後、南昌市と呼ばれるようになった。同時に市制を施行。1927年8月1日、周恩来、朱徳、賀龍などが指導する武装団がこの地で挙兵したため、南昌は中国人民解放軍誕生の地になっている。
- (7)観光地 八一起義記念館、八一起義記念塔、滕王閣、八大山人記念館、青山湖風景区、八一大橋、江西省博物館、江西工芸美術館、江西省展覽館、順外村など。
- (8)産業 上海経済区の中心工業都市の一つ。工業では、紙巻煙草、綿布、農業肥料、セメント、自動車、鉄鋼、タイヤ、ディーゼル機関車、腕時計、トラクターなど。農林水産業では、穀物、綿花、柑橘類、茶、野菜、家畜林業、水産業の生産基地がある。また、工芸美術も古い歴史があり、独特な陶磁器や玉石の彫刻、各種の金、銀の飾り物などがある。



南昌市  
〔市区〕東湖区、西湖区、青雲譜区、郊区、湾里区  
〔効県〕南昌県、新建県、進賢県、安義県

高松・南昌友好会館  
落成記念市民訪中団

全日空  
チャーター便で行く!!

募集要項

- 旅行期間/平成8年5月10日(金)～16日(木)
- 募集人員/各コース50名(最少催行人員40名)
- 添乗員/各コース1名同行します。

●旅行代金(お1人様) ( )は1人部屋追加料金

Aコース	Bコース	Cコース
250,000円 (36,000円)	265,000円 (32,000円)	238,000円 (34,000円)

●渡航手続取扱料金(中領館取付代行料含む)/8,240円

●中国査証料(お1人様)/3,000円

●利用予定ホテル/  
南昌・五湖大酒店 上海・華亭賓館  
北京・長城飯店 西安・長安城隍大酒店  
景德鎮・景德鎮賓館 黄山・西海賓館  
または同等クラス

●利用航空会社/全日空

お申し込み方法  
お申し込み代金  
50,000円を  
お戻しください  
下記

後援：高松市 (財)高松市国際交流協会 高松市日中友好協会  
弦打校区日中交流協会

## 2 市民訪中団

### (1)募 集

\* 訪中期間 平成8年5月10日(金)～16日(木)の7日間  
上海・蘇州コース、西安コース、景德鎮・黄山コース  
募集定員205人

募集開始半ばにして定員になり、定期便利用による参加者が出るなど好評となった。

### (2)結団式

5月2日(木)午前10時から市役所13階大会議室で約150人の参加予定者が集まり結団式を行った。

増田市長、大熊議長の挨拶の後、南昌市において文化交流、経済交流等を行う団体の紹介があり、また旅行会社から今回の旅行についての説明があった。



### (3)出発式

5月10日(金)午前10時50分から高松空港国際線出発ゲートにおいて出発式を行った。

205人の市民訪中団員を代表して、林伸樹団長から出発の挨拶があり、つづいて高松市の井竿助役から市民訪中団の団員の皆様へ「健康に気をつけて、実りあるご旅行を」との壮行のことばがあった。

そして、全日空グランドホステスから花束が団長に送られ、全員元気に出発アーチをくぐってチャーター機に乗り込んだ。

### (4)本部・事務局

#### \*本 部

顧 問 脇 信男  
団 長 林 伸樹  
副団長 星川榮二郎  
医 師 小島 章裕  
看護婦 加藤トミ子

#### \*事務局

岡田 正昭  
蓮井 宣昭  
馬場 朋美  
磯部 求



(5) 団員・日程

(A) 上海・蘇州コース

日 程

日次	月日(曜日)	地 名	現 地 時 刻	交 通 機 関	スケジュール (宿泊地)
1	5月10日 (金)	高松 上海 南昌	発着 10:30 12:25 13:40 16:00 17:20 到着	NH1959便 MU5505又は 臨時便	高松空港国際線ターミナル集合 全日空チャーター機にて上海へ 入国手続後、空路・南昌へ 到着後、ホテルへ 〈南昌〉
2	5月11日 (土)	南 昌			終日、落成式典参加 文化交流 市内観光 夕食会、観劇 〈南昌〉
3	5月12日 (日)	南 昌 上 海	発着 07:25 08:40	MU5506 専用バス	午後：上海市内観光 (豫園、南浦大橋、外灘等) 〈上海〉
4	5月13日 (月)	上 海 蘇 州 上 海	発着 07:35 08:44 15:30 16:35	列 車 専用バス 列 車	終日：蘇州市内観光 (虎丘斜塔、寒山寺 刺しゅう研究所) 〈上海〉
5	5月14日 (火)	上 海 北 京	発着 08:30 10:30	MU5143便 専用バス	着後：北京市内観光 (故宮、天安門広場等) 〈北京〉
6	5月15日 (水)	北 京		専用バス	終日：北京郊外観光 (万里の長城、明の十三陵) 夕食： 名物料理(北京ダック)の夕食会 〈北京〉
7	5月16日 (木)	北天 天津 高松	発着 08:30 10:30 12:00 16:00	専用バス NH1956便	全日空チャーター機にて帰国の途へ 入国手続後、解散



団 員

No.	氏 名	No.	氏 名	No.	氏 名	No.	氏 名
1	青木 澄	22	苧坂 忠一	43	高 國 潔	64	林 伸 樹
2	池添 ユキエ	23	小山 ヨシ子	44	高橋 星二	65	馬場 朋美
3	石濱 忠幸	24	居石 政子	45	谷澤 ヒサヨ	66	広瀬 辰夫
4	井下 照子	25	香川 敏雄	46	垂水 絢子	67	藤村 敬子
5	井下 博	26	笠井 幸代	47	垂水 郁雄	68	二川 和子
6	今井 繁徳	27	梶浦 郁代	48	檀原 美恵子	69	細谷 政子
7	今井 晴江	28	梶浦 允昭	49	堤 正則	70	松岡 芳子
8	岩崎 偕子	29	梶村 智子	50	樋端 房子	71	宮脇 茂登子
9	岩瀬 潔	30	片山 幸子	51	徳嵩 清宣	72	三好 正信
10	岩瀬 恒子	31	加藤 雅子	52	徳嵩 知余子	73	毛利 元廣
11	上原 道雄	32	河田 澄	53	富川 フサエ	74	安野 稔
12	宇川 明栄	33	川南 修三	54	中尾 宇市	75	山地 悦次
13	宇野 陽子	34	河村 ナカ	55	中川 美千代	76	山本 久子
14	漆原 千恵	35	河村 正和	56	中村 章夫	77	山本 博子
15	上砂 栄子	36	岸 謙司	57	中村 ヒロ子	78	山本 正春
16	江頭 純子	37	木村 テルコ	58	中村 美壽恵	79	山本 元子
17	江頭 則夫	38	久保 美智子	59	中山 節子	80	吉田 桂子
18	大野 美知子	39	小坂 桂子	60	長尾 治代	81	渡辺 弘
19	小笠原 テル子	40	小坂 陽子	61	二宮 田鶴子	82	黒木 真由美
20	小笠原 和子	41	住谷 敏治	62	二宮 敬	83	翠 秀夫
21	小神 公一	42	十川 哲也	63	野崎 節子		



(B) 西安コース

日程

日次	月日(曜日)	地名	現時刻	交通機関	スケジュール(宿泊地)
1	5月10日 (金)	高松 上海 南	発着 10:30 12:25 13:40 16:00 17:20	NH1959便 MU5505又は 臨時便	高松空港国際線ターミナル集合 全日空チャーター機にて上海へ 入国手続 到着後、ホテルへ 〈南昌〉
2	5月11日 (土)	南 昌			終日：落成式典参加 文化交流 市内観光 夕食会、観劇 〈南昌〉
3	5月12日 (日)	南 昌 発 西 安 着	10:10 11:30	チャーター便 専用バス	午後：西安市内観光 (大雁塔、鐘樓、青龍寺等) 〈西安〉
4	5月13日 (月)	西 安		専用バス	終日：西安郊外観光 (兵馬俑坑、華清池等) 〈西安〉
5	5月14日 (火)	西 安 発 北 京 着	08:45 10:15	WH2123 専用バス	午後：北京市内観光 (故宮、天安門広場等) 〈北京〉
6	5月15日 (水)	北 京		専用バス	終日：北京郊外観光 (万里の長城、明の十三陵) 夕食：名物料理(北京ダック)にて 夕食会 〈北京〉
7	5月16日 (木)	北 京 発 天 津 着 高 松 着	08:30 10:30 12:00 16:00	専用バス NH1956便	全日空チャーター機にて帰国の途へ 入国手続後、解散



団員

No.	氏名	No.	氏名	No.	氏名	No.	氏名
1	阿河久美子	24	川田景孝	47	鈴木照男	70	前田務
2	綾田洋子	25	川田正見	48	住谷幸伸	71	松岡恵美子
3	安藤誠司	26	川田マツエ	49	高橋真人	72	松岡繁
4	家田治男	27	川西美雄	50	谷本伊久夫	73	松本敏子
5	家田芳子	28	神田實	51	田渕稔	74	真鍋ヒロ子
6	石本敏子	29	神田美子	52	田村郷美	75	三島勝幸
7	市村麻	30	北谷賢治	53	田山賀子	76	三島春子
8	市村力	31	北谷喬	54	東條千恵子	77	溝渕ナオミ
9	伊藤琢夫	32	北村愛子	55	富田蔦子	78	宮脇艶子
10	伊藤文枝	33	木村庫之助	56	中井慶子	79	安井美恵子
11	入船寶男	34	楠原健司	57	中山一義	80	山下敏子
12	大熊秋義	35	楠原俊一	58	長居フシエ	81	山下義治
13	太田恵美子	36	久富木美恵子	59	永井玲子	82	山中仁
14	太田正臣	37	久保美矢子	60	長池隼千	83	山本佳世子
15	大谷智勢子	38	小泉貞子	61	長嶋悦子	84	横倉貞子
16	大谷博之	39	香西正夫	62	平野武子	85	吉岡和子
17	岡田正昭	40	桜井富士	63	広瀬由美子	86	吉田宏基
18	岡本絹枝	41	桜又フミエ	64	藤田京子	87	脇信男
19	岡本進	42	寒川豊茂	65	古市恵美子	88	綿木操
20	大西潤甫	43	清水道	66	古市崇人	89	渡辺頼信
21	柏野敏子	44	小路仲子	67	古市壽子	90	平尾政彦
22	加藤トミ子	45	末澤保	68	古川昭三	91	三好良和
23	鎌野マスエ	46	杉上房枝	69	前川文子	92	山本美津恵

### (C) 景德鎮・黄山コース

#### 日程

日次	月日(曜日)	地名	現地時刻	交通機関	スケジュール(宿泊地)
1	5月10日 (金)	高松 上海 南昌	10:30 12:25 13:40 16:00 17:20	NH1959便 MU5505又は 臨時便	高松空港国際線ターミナル集合 全日空チャーター機にて上海へ 入国手続後、空路・南昌へ  到着後、ホテルへ  〈南昌〉
2	5月11日 (土)	南 昌			終日：落成式典参加 文化交流 市内観光 夕食会、観劇  〈南昌〉
3	5月12日 (日)	南 昌 発着 景 徳 鎮	08:00 12:00	専用バス	午後：景德鎮市内観光 (陶磁歴史博物館、磁器工場) 〈景德鎮〉
4	5月13日 (月)	景 徳 鎮 発着 黄 山	07:30 12:30	専用バス	ロープウェーにて黄山山頂へ (北海風景区、臥龍松)  〈黄山〉
5	5月14日 (火)	黄 山 発着 武 漢 発着 北 京	12:30 13:40 13:55 15:40	チャーター便 WU121	朝：日の出見物   〈北京〉
6	5月15日 (水)	北 京		専用バス	終日：北京市内、郊外見学 (万里の長城、天安門広場等) 夕食：名物料理(北京ダック)にて 夕食会  〈北京〉
7	5月16日 (木)	北 京 発着 天 津 発着 高 松	08:30 10:30 12:00 16:00	専用バス NH1956便	全日空チャーター機にて帰国の途へ 入国手続後、解散



#### 団員

No.	氏名	No.	氏名
1	青木 寿代	19	多田 栄
2	穴吹 学	20	多田 シズ
3	大熊 征起	21	立野 省一
4	大西 久子	22	豊島 和治
5	岡田 廣治	23	富田 政廣
6	岡田 秀樹	24	中村 寛一
7	小河 百合子	25	蓮井 宣昭
8	小河 義朗	26	菱木 昭子
9	葛西 吉弥	27	古川 雅章
10	金井 和子	28	古田 忠弘
11	金倉 修	29	星川 榮二郎
12	北村 正人	30	松本 志寿
13	国東 一雄	31	松本 周子
14	小島 章裕	32	美馬 進一
15	篠原 秀雄	33	美馬 節子
16	篠原 道子	34	三宅 正瞭
17	地下 恵利子	35	八木 敏彦
18	地下 三	36	佐伯 裕美



### 3 市民訪中団派遣実行委員会

#### (1) 設立趣意

(財)高松市国際交流協会は、高松・南昌両市の友好都市提携5周年を記念し、南昌市に両市共同で建設の高松・南昌友好会館の落成を契機として市民訪中団を派遣するとともに、今後の両市間の広範な分野にわたる友好交流の進展に資するため、高松・南昌友好会館落成記念市民訪中団派遣実行委員会を設置する。

#### (2) 実行委員会委員

顧問	増田昌三	高松市長
顧問	大熊忠臣	高松市議会議長
顧問	脇信男	友好会館顧問
委員長	松本恭輔	市国際交流協会理事長
副委員長	多田野康雄	市姉妹都市委員会会長
委員	石津英雄	市姉妹都市委員会副会長
委員	国方恒雄	市連合自治会連絡協議会会長
委員	島田雅行	市文化協会理事長
委員	新池省三	高松青年会議所理事長
委員	十河ハル	市婦人団体連絡協議会会長
委員	立野省一	市日中友好協会事務局長
委員	西谷泰征	弦打日中交流協会会長
委員	林伸樹	市国際交流協会副理事長
委員	星川榮二郎	高松商工会議所専務理事
委員	丸山修	市国際交流協会副理事長

#### (3) 経過

平成7. 11. 8	第1回実行委員会（役員選出、事業計画）
平成8. 1. 26	第2回実行委員会 （文化・経済交流等について、参加者募集）
平成8. 4. 1	市民訪中団員募集開始
平成8. 4. 11	第3回実行委員会 （団員決定、落成記念式典および交流事業等）
平成8. 5. 10	市民訪中団出発
平成8. 5. 16	市民訪中団帰国
平成8. 11. 18	南昌訪問写真展（庁舎ホール、11/22まで）
平成8. 11. 25	南昌訪問写真展（高松サティ、12/1まで）
平成9. 3. 31	市民訪中団派遣事業報告書発行

■写真提供 (50音順、敬称略)

川 田 景 孝 高松市松福町  
田 淵 稔 木田郡三木町  
中 井 慶 子 高松市楠上町  
中 山 節 子 高松市川部町  
中 山 武 信 高松市浜ノ町  
古 田 忠 弘 高松市木太町

御協力ありがとうございました。

発 行 平成9年3月31日

高松・南昌友好会館落成記念

市民訪中団派遣実行委員会

事務局 財団法人高松市国際交流協会

高松市番町一丁目11番63号

電話 (0878) 37-6003

FAX (0878) 37-6005

